
本メールは、弊協会と名刺交換させて頂いた方にもお送りさせて頂いております。配信停止・宛先変更等をご希望の方は本メールの末尾をご覧ください。

ITCAメルマガ「創新」第296号◆今年も出ます！ITpro EXPO 2014！

みなさん、こんにちは。メルマガ担当の田口です。
今年も「ITpro EXPO 2014」に出展することが決まりました！
開催日：10/15（水）～17（金） 場所：東京ビッグサイト
ブースNO.「9-5」です。
当日は協会ブースにてポイント証明書配布します（1ポイント）。
皆様のお越しを心よりお待ちしております！！
<http://itpro.nikkeibp.co.jp/expo/2014/>

目次

1. ITコーディネータによるユーザー事例のご紹介
 2. ITCカンファレンス2014 参加者の声のご紹介
 3. ITコーディネータ協会インフォメーション （並盛）
 4. 関連団体よりお知らせ
- ★. セミナーのご案内
-

◆1◆ ITコーディネータによるユーザー事例ご紹介

今回は、中小企業IT経営力大賞にて認定企業を受賞されたユーザー事例を、支援ITC執筆による支援のきっかけから経緯、今後をご紹介します！
今回は前号に引き続き、後篇をお伝えします。
前編はこちら <http://www.itca-pr.jp/essay/itcshien/no1/>

お客様：(株)日昌製作所 様 <http://www.nisshoss.co.jp/>
事業内容 自動車用電装部品製造、医療機器用部品、など
支援ITC：大久保 賢二 氏（株式会社日立産業制御ソリューションズ）
<http://www.hitachi-ics.co.jp/>

2014年度IT経営力大賞の実践認定企業である(株)日昌製作所様の支援をさせて頂きました大久保です。前篇に続いての後篇では、システム化に関する経緯、それから現状と今後についてお伝えします。
(前編はこちら <http://www.itca-pr.jp/essay/itcshien/no1/>)

前篇のような事がきっかけで当社が日昌製作所様の生産管理システムのリニューアルを全面的に任せて頂きましたが、当社の「生産管理システムソリューション」では、お客様と当社関係者によるプロジェクト制を採用して全ての状況に関係者全員で共有する仕組みを取っております。さらにこのプロジェクトは新しいシステムの運用開始で終結してしまうのではなく、運用開始後も定期的なモニタリング会議を開催するようにしており、プロジェクトキックオフの時点で設定した、効果目標といういわゆるKGIを、そのモニタリング会議では当初の効果目標が達成しているか、そして新たな問題が発生していないかをプロジェクトメンバー全員で共有しております。

今回のIT経営力大賞で実践企業として認定頂いたのは、そのようなプロジェクトの仕組みの中で、実質のプロジェクトマネージャである佐々木係長が強い意思を持ち社内を牽引し完遂させ成果を出した事の評価とっております。

今後ですが、2012年にリニューアルが完成した新生産管理システムは、今は次ステップの課題解決のため、そして更なる成長のための新たな施策を計画し実行段階に入っております。

高岡社長は「システムを活用して企業文化を成長させたい」と常日頃より社内はもとより我々にも熱いメッセージを発信されております。その思いに応えるためにも我々も日昌製作所の一社員になったつもりで取り組んでおります。企業が成長する限りやる事はまだまだあります。日昌製作所様のパートナー企業として共に歩んでいきたいと思っております。

大久保様、ご紹介ありがとうございました。
お客様事例の紹介をご希望の方は、是非 melmaga@itc.or.jp までご連絡下さい！お待ちしております！

◆2◆ ITCカンファレンス2014 参加者の声のご紹介

協会の理事の澁谷様より、ITCカンファレンス2014の感想を頂きましたのでご紹介します！

ITCカンファレンス2014に参加して
澁谷 裕以（しぶや ひろゆき）理事、試験・認定専門委員会委員長
（東京海上ホールディングス顧問）

ITCカンファレンス2014には、2日間を通じて参加したが、まさしく「変革への挑戦」事例に溢れた良い内容であったと思う。以下、強く印象に残ったご講演に対して、私の感想とともに、ITCの皆様への期待を述べることとしたい。

1. 酒造りはシステムだ ～「獺祭」の旭酒造～
2. 「IT経営」の範たる駐車場・駐輪場経営 ～芝園開発～
3. もっとITCと経営者を繋ぎたい ～協会の「営業」活動の重要性～
4. 情報（知恵）の共有を経営の力に ～今野製作所～
5. 問題解決型ビジネスモデルのなかでのITCの活用 ～西武信用金庫～
6. 信用金庫との連携に向けたITC届出組織への期待
7. ITを活かした行政の改革へ ～ITCへの期待～
8. 終わりに

続きはこちら

<http://www.itc.or.jp/society/activity/confe/20140926.html?ml296>

◆3◆ ITコーディネータ協会インフォメーション （並盛）

◆昨年に続き、「ITpro EXPO 2014」（10/15（水）～17（金）東京ビッグサイト）に、出展いたします。
当日は協会ブースにてポイント証明書配布します（1ポイント）
ぜひ、足をお運びください！！ブースNO.「9-5」です。
<http://itpro.nikkeibp.co.jp/expo/2014/>

◆「ITC Conference 2014」にてご講演いただいた、『経済産業省「攻めのIT投資」講演資料』を公開いたしました。
ぜひご活用ください！
http://www.itc.or.jp/news/itcc2014_06.html?ml296

◆ITCAでは、「平成26年度 地域創業促進支援事業」の一環として、『創業スクール』を10月より開催いたします。
「ベーシックコース」と「女性起業家コース」の2コースございますので、身近で創業を考えている方にご紹介ください！
<http://www.itc.or.jp/news/entrepreneur.html?ml296>

◆IT経営カンファレンス開催決定！今年是全国7箇所で開催します。
<http://www.itc.or.jp/management/notification/it2014.html?ml296>

◆ITC関連プレスリリース情報
・新潟日報（9/13）

◆4◆ 関連団体よりお知らせ

■一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）よりお知らせ
【JISA技術研修】「REBOKで学ぶ要求開発と要求管理」2のご案内
要求工学知識体系（REBOK）に基づき要求工学を体系的に学ぶことができます。

<http://www.jisa.or.jp/tabid/958/Default.aspx?itemid=567>

<内容>

ビジネスや組込みシステムの企画から開発に至る要求を組織的、かつ合理的に定義するための技術である要求工学を体系立ててまとめた「要求工学知識体系（REBOK）」を参照モデルとし、講義とケーススタディによる実践演習を通じて学ぶ。
（速習コースは一部のプロセスのみグループディスカッションを実施）。

<問い合わせ先>

一般社団法人情報サービス産業協会 鈴木
TEL 03-6214-1121 E-mail seminar@jisa.or.jp

■IPA（独立行政法人情報処理推進機構）よりお知らせ
システム障害事例・再発防止策の「教訓集」ができました！
～ITC届出組織のセミナーや勉強会に講師派遣も～

IPAは情報処理システムにおける類似障害の発生防止と影響範囲の縮小を目指し、「ITサービス」と「製品・制御システム」2つの領域の障害情報と対策を普遍化し企業・業界を超えて共有・応用できる「情報処理システム高信頼化教訓集」を作成・公開いたしました。

<http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20140513.html>（ITサービス編）

http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20140513_2.html（製品・制御システム編）

ITCのみなさまには、是非、コンサル等の場で本教訓集をご活用いただき、ご意見等をお寄せください。

また、IPA/SECでは、地域でのセミナーや勉強会に講師を派遣しています。以上に関するお問い合わせは、下記宛に、どうぞよろしくお願い致します。
（プレス発表URL：<http://www.ipa.go.jp/about/press/20140513.html>）

★. セミナーのお知らせ

セミナー情報は下記URLをご覧ください！

前号に引き続き、中小企業経営支援実践能力養成研修2014年度版の、受講者の声を掲載！

フォローアップ研修のスケジュールや、ITC協会が後援するセミナー（後援セミナー）はこちらをご覧ください。

<http://www.itc.or.jp/news/296.html?ml296>

↓ 各種問合せ先 ↓

「創新」のバックナンバーは、下記に掲載しています。

<http://www.itc.or.jp/society/activity/mail/index.html?ml296>

感想、掲載内容のリクエストは随時募集中！
melmaga@itc.or.jp までお気軽にご連絡下さい。

注意

お問い合わせ・配信停止方法・送付先変更方法はこちらをご覧ください。
<http://www.itc.or.jp/society/activity/mail/index.html?ml296>

発行／編集： ITコーディネータ協会 メールマガジン担当：田口